

【考え・基礎知識】

構成や展開、表現の仕方等、詩を読む視点を知らずとも、筆者の思いを想像する。「ちらし」の特徴や構成等を理解する。

【つながり】

学習した詩を読む視点を生かし、複数の詩を比較し、自分が紹介したい詩を選ぶ。目的に応じた「ちらし」の構成を考える。

【応用・ひろがり】

「ちらし」を使って、平和に関する自分の考えを発信する。目的に応じた情報発信の形態や内容の記述の仕方について考える。

- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 単元名 「作品」から世界を見つめよう 「挨拶～原爆の写真によせて 他2編」
- ◇ 単元の目標 ○戦争や平和を取り扱った詩を活用して平和について訴えることを目的として、複数の詩を読み比べ、詩の内容や構成や展開、言葉、表現の工夫に着目し、筆者の思いを捉えらるとともに、平和に対する自分の考えをもつことができる。  
○詩を適切に引用し、構成を工夫して、平和について訴える「ちらし」を書くことができる。
- ◇ 単元の計画 (全10時間)

学習活動	時数	指導上の留意点
<p><b>課題の設定 (1)</b></p> <p>○平和に対する自分の思いを発信することに関心をもつ。 ・世界では、今も様々な紛争等が行われているにも関わらず、日本では、広島でさえ原爆投下の正確な日時等を知っている小・中学生の割合が低下していることを伝える新聞記事等から、自分を含めた社会全体の平和に対する意識が低下している事実気付く。それに対して課題意識をもつとともに、自分たちができる改善策について話し合う。 ・戦争や原爆を扱った詩を読み、それらの詩を活用して平和について考え、平和を訴えるという学習計画を立てる。</p>	1	<p>★日常的に目にする世界情勢のニュースや社会科等の学習と関連付けることで課題意識を高めることが大切である。また、それに対する実社会の取組の中から、文学や詩を活用した取組事例を紹介し、詩を活用して課題解決の一助とすることができないかと投げかけ、改善策の焦点を絞らせる。</p> <p>★教師が学習計画を提示するのではなく、詩を活用して平和について考え、平和を訴えるためには、どのような読み方をする必要があるのでかを生徒に考えさせ、学習計画の立案につなげていく。</p>
<p><b>情報の収集・整理・分析 (5)</b></p> <p>○詩を読み、表現の工夫や効果について評価する。 ・詩の基本的な構成や表現技法について知らずとも、共通教材として選んだ戦争や平和を取り扱った複数の詩それぞれの特徴を捉える。それぞれの詩の特徴について、平和を訴えるという視点から言葉や表現の工夫を評価し交流する。 ○詩に込められた作者の思いについて自分の考えをもつ。 ・共通教材として選んだ戦争や平和を取り扱った詩の中から1編の詩を取り上げ、書かれた時期や誰から誰に向けて書かれたものか等の視点から詩を分析する。それらをふまえて詩に表現されている内容をまとめ、作者の戦争や平和に対する思いを考えるとともに、それに対する自分の考えを書き、交流する。 ・残りの詩について、詩に表現されている内容をまとめ、作者の戦争や平和に対する思いを考えるとともに、それに対する自分の考えを書き、交流する。 ・これまでの学習を生かし、並行読書で読んできた詩を読み、作者の戦争や平和に対する思いを考えるとともに、それに対する自分の考えを書く。 ・教材として提示された詩と並行読書で読んできた詩を比較し、共通点と相違点を明らかにした上で、自分が平和を訴えるために使用するならばどの詩がよいか選択する。</p>	1 1 1 1 1 1	<p>○それぞれの詩の構成、言葉、表現技法を比較させることで、受ける印象の違いや筆者の意図に気付かせる。</p> <p>○詩が書かれた背景等を知ることによって、より深く内容を捉えることができることに気付かせる。</p> <p>★詩を読む視点に関しては、これまでの学習を想起させるとともに、どう読めばより深く詩の内容を捉えることができるのかを、提示した詩のうち一つを取り上げ、しっかりと教えることが必要である。その学びを生かして、個々やグループで他の詩を読ませることで、一斉学習での学びを活用して自分の力で読むといった展開にすることができる。</p>
<p><b>まとめ・創造・表現 (3)</b></p> <p>○効果的な発信方法について考える。 ・情報を発信するための様々な媒体とその特徴や効果等を知り、どの媒体で詩を使って平和を訴えるのかを考える。 ○平和を訴えるための「ちらし」を作成する。 ・複数の「ちらし」を比べ、基本的な構成を理解するとともに、配布対象や平和を訴えるのにふさわしい構成、詩の引用部分等を考え、ペアやグループで交流し、修正を加える。 ・詩を引用し、構成を工夫して「ちらし」を作成する。</p>	1 1 1	<p>○媒体を決める際には、目的や相手を意識させる。</p> <p>★媒体を決定した際には、いきなり書かせるのではなく、その媒体が実社会ではどのような手順で作成されているかを押さえることが大切である。その手順をできる限り学習過程に反映させることで、リアリティのある学習となる。</p>
<p><b>実行・振り返り (1)</b></p> <p>○「ちらし」の内容と、そこに引用した詩を選んだ理由を互いに発表し合い、相互評価を行う。</p>	1	<p>○「ちらし」の内容、構成、引用の仕方について評価させる。</p>

平和をテーマにした詩集を並行読書する。